

## サケ稚魚放流情報 No. 6



平成22年5月18日

岩手県水産技術センター

漁業資源部

TEL: 0193-26-7915

FAX: 0193-26-7920

E-mail: CE0012@pref.iwate.jp

さんりく基金 北里大学との共同研究

表面水温は平年並～1℃低く、餌環境は平年並～多い状況でした。  
ほとんどのふ化場で、稚魚の放流が終了していると思われます。親魚の採捕から稚魚の放流までご苦労さまでした。

### 1 表面水温

5月10、11日の平均表面水温(図1)は、宮古湾9.6℃(前年同期10.8℃、同期7年平均10.8℃)、山田湾9.4℃(12.8℃、10.7℃)、唐丹湾10.6℃(10.1℃、9.2℃※5年平均)、越喜来湾8.9℃(11.0℃、10.2℃)、大船渡湾10.6℃(13.1℃、11.4℃)でした。また、定地水温情報(いわて大漁ナビ)のデータを取りまとめると(図3)、5月上旬は野田湾平均8.5℃(H7～H21平均9.1℃)、山田湾7.0℃(8.5℃)、船越湾7.6℃(8.9℃)、釜石湾7.1℃(8.5℃)、大船渡湾7.2℃(8.3℃)、広田湾7.7℃(8.8℃)と、全域で平年並～1℃低い傾向にあります。

### 2 動物プランクトン沈殿量

5月10、11日のノルパックネット鉛直20m曳きによる動物プランクトンの沈殿量(図1)は、宮古湾 1.80ml/m<sup>3</sup>(前年同期0.40ml/m<sup>3</sup>、同期7年平均1.15ml/m<sup>3</sup>)、山田湾 0.72ml/m<sup>3</sup>(0.56ml/m<sup>3</sup>、0.72ml/m<sup>3</sup>)、唐丹湾 1.90ml/m<sup>3</sup>(0.39ml/m<sup>3</sup>、1.74ml/m<sup>3</sup>※5年平均)、越喜来湾 0.95ml/m<sup>3</sup>(0.71ml/m<sup>3</sup>、1.79ml/m<sup>3</sup>)、大船渡湾 4.99ml/m<sup>3</sup>(0.03ml/m<sup>3</sup>、0.66ml/m<sup>3</sup>)となりました。種組成では、大船渡湾と宮古湾は、数・量でも小型の *Pseudocalanus*(図2 C)が優占し、その他の海域では、小型の *Pseudocalanus*(図2 C)が数で、大型の *Neocalanus*(図2 A)、*Eucalanus*(図2 B)、*Temisto*(図2 D)が量で優占しています。なお、越喜来湾の *Neocalanus*には、かなり沖合域に生息する *Neocalanus cristatus* という種類が多く含まれていました。プランクトンは、平年並～多い傾向が続いています。

### 3 その他

本号をもって今年の稚魚放流情報を終了します。今年は、さんりく基金の助成を受けてプランクトン組成をお知らせいたしました。皆様の感想などをお聞かせいただきたく別紙アンケートにご協力いただくと幸いです。

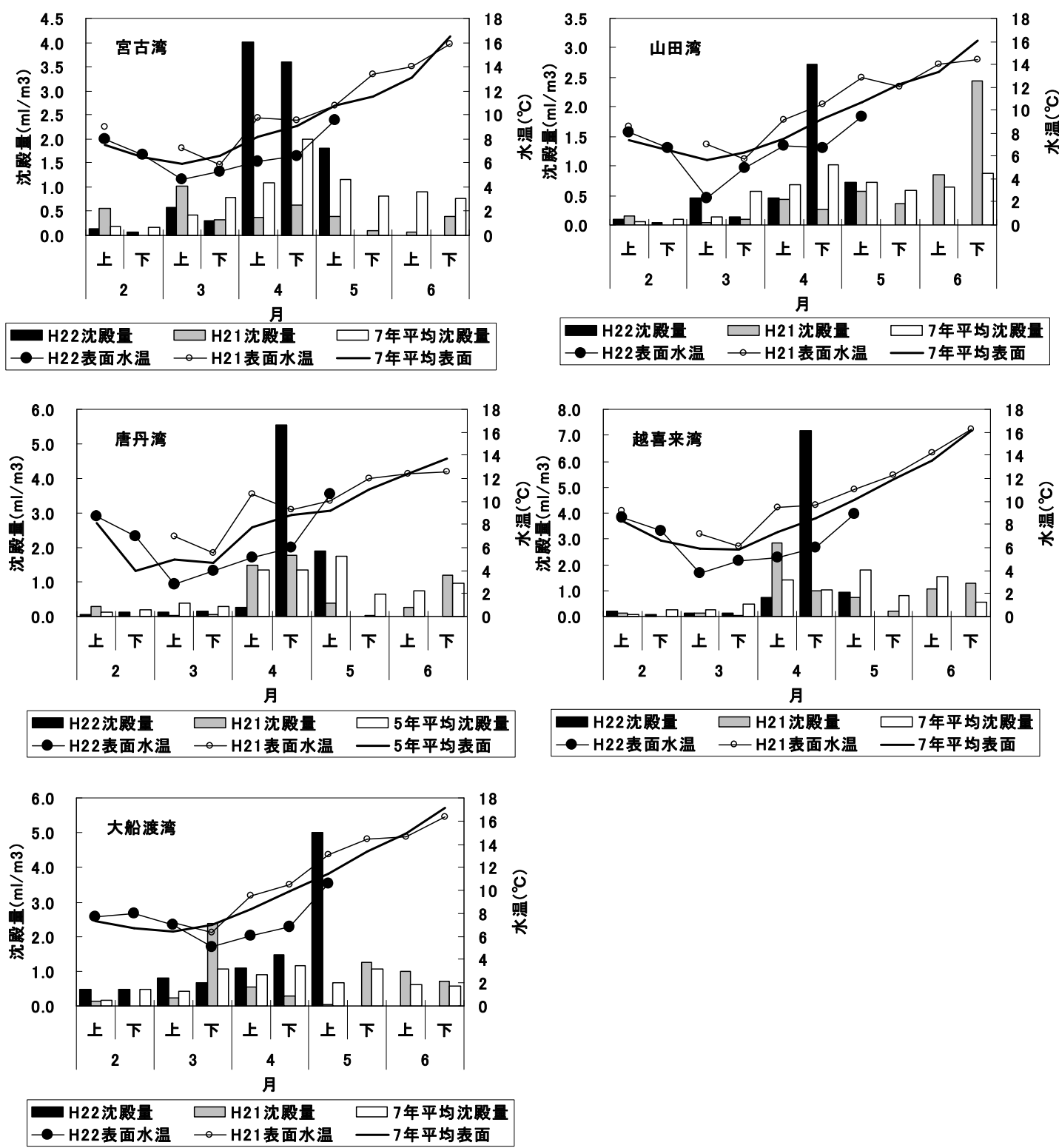


図1 5湾における動物プランクトン沈殿量および表面水温の季節変化

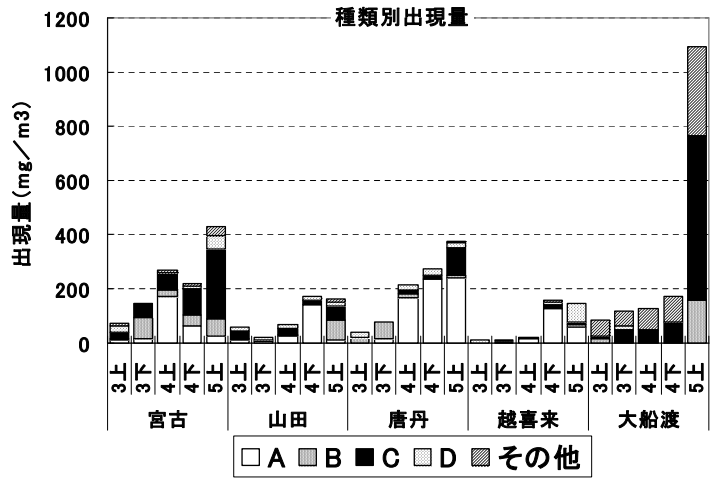
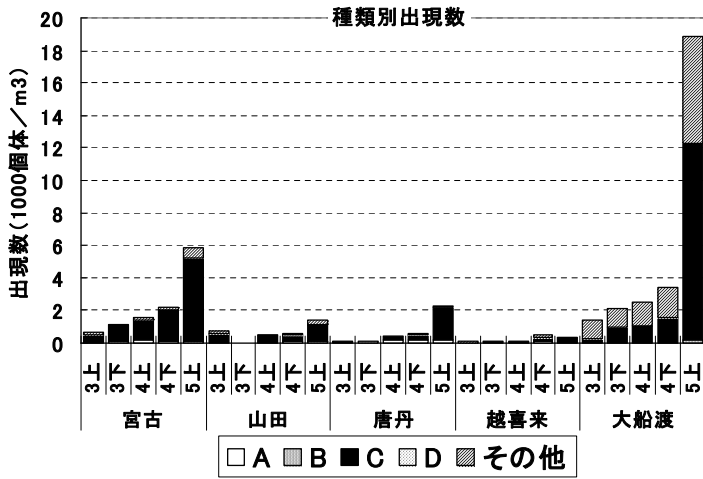
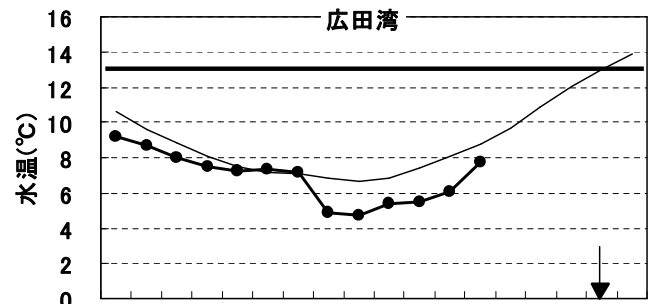
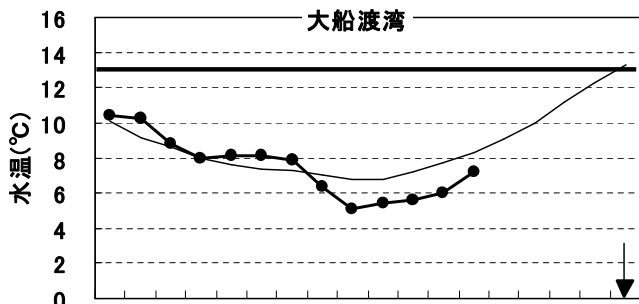
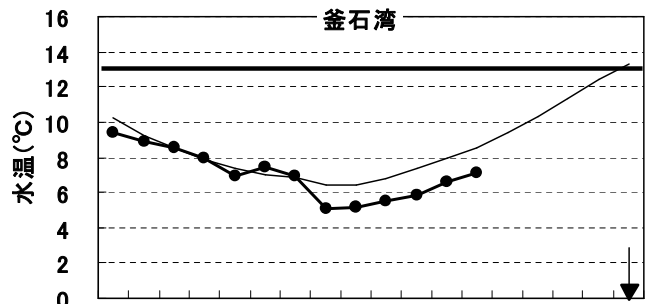
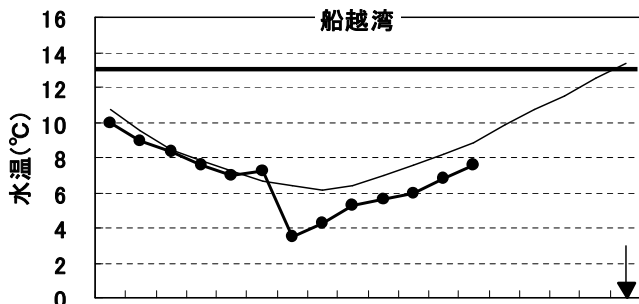
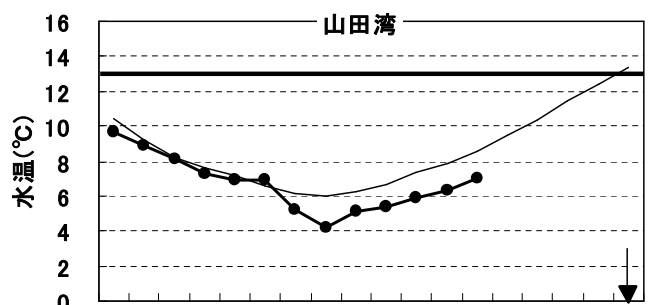
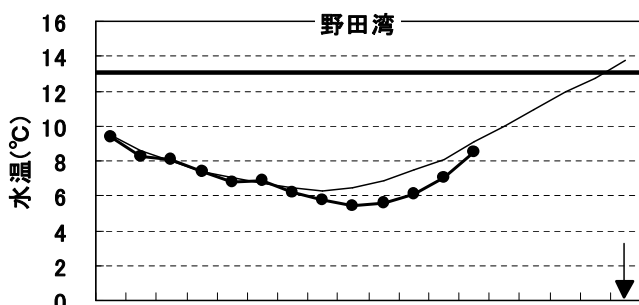


図2 5湾における動物プランクトン組成 (左:出現数、右:出現量)



— H7~H21平均 ● H21

— H7~H21平均 ● H21

図3 6湾における表面水温の変化 (いわて大漁ナビ 定地水温情報)  
 黒い太線は水温 13°C、矢印は水温 13°Cに達する時期

春期に特徴的に出現するプランクトン4種（いずれも親潮指標種）

A ネオカラヌス・ブルムクルス（もしくはフィレミンジャイ）  
*Neocalanus plumchrus*（もしくは *flemingeri*）



和名なし。  
体長2～4 mmで、典型的な親潮指標種。  
特に外洋域に多い。

B ユウカラヌス・ブンギ *Eucalanus bungii*



和名なし。  
体長2～4 mmで、典型的な親潮指標種。  
特に外洋域に多い。

C シュードカラヌス・マイヌータス（もしくはニューマニー）  
*Pseudocalanus minutus*（もしくは *newmani*）



和名なし。  
体長1 mm未満で、親潮指標種。  
沿岸から内湾域に多く出現。

D テミスト・ジャポニカ *Themisto japonica*



和名 ニホンウミノミ（地方名スムシ）。  
体長4～10mmで、親潮指標種。  
イサダ漁で混獲され、濃密な群れを形成することがある。

別紙

岩手県水産技術センター漁業資源部 清水 あて

FAX 0193-26-7920

所属 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

### サケ稚魚放流情報に関するアンケート

- 1 サケ稚魚のふ化放流に携わりましたか？（はい・いいえ）
- 2 サケ稚魚の放流に対して有意義な情報でしたか？  
（はい・いいえ・どちらともいえない）
- 3 今後、どのような情報が必要ですか？

[ ]

- 4 サケ稚魚の放流以外に「サケ稚魚放流情報」を活用されましたか？  
（はい・いいえ）

- 5 4で「はい」と答えた方は、どのように活用しましたか？

[ ]

- 6 その他、自由にご意見等お聞かせください。

[ ]

ご協力ありがとうございました。より良い情報となるよう今後とも努力してまいります。